

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 関西福祉科学大学 実施報告書



実施主体 社会福祉学科・臨床心理学科の保育士課程有志
実施内容 平成25年11月9日～10日の大学祭における啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・授業内で、オレンジリボン運動に関する意義や目的について講義を実施した。
- ・学生全員で、オレンジリボン(計3,000個)を制作した。
- ・学生がテーマ毎でグループに分かれ、啓発展示物を作成した。
- ・平成25年度「児童虐待防止推進月間」標語募集に、学生が挑戦し応募した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・大学祭期間中(計2日間)に啓発展示室を設置し、市民や学生等(計216名)に来場を頂いた。
- ・入場された方に、オレンジ色の紙にメッセージを記入頂き、全員のメッセージを基にオレンジリボンのオブジェを作製した。
- ・大学の最寄り駅(3駅)で、2日間に渡り、「オレンジリボン啓発セット(リーフレット、オリジナル・クリアファイル、手作りのオレンジリボン)」を市民の方(計1,700人)に配布し啓発活動を実施した。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

- ・保育者を目指す者として、啓発活動を行う自覚と意識が芽生えた。
- ・入場者の方への説明を行ったが、頂いた質問が難しく、勉強不足を痛感した。
- ・駅で配布したが、なかなか受け取ってもらえないこともあり、啓発活動は難しかった。
- ・授業で学ぶだけでは、無関心者にはか過ぎない。啓発活動を行うことによって、他人事ではなく、保育者としての自覚をしっかりと持つことができた。
- ・ひとりでも多くの方に伝えることができて良かった。
- ・今後の「児童虐待」に関する問題やニュース、授業などに対して、主体的に取り組める意欲がわいた。
- ・自分自身がオレンジリボン運動の重要性を感じていても、他人に関心を持ってもらえるよう伝えることはとても難しかった。
- ・来年もぜひ参加・挑戦したい。

